

學博士箕作元八先生編全一卷

新刊世界大圖
入鈔一千九百頁
插圖一色
地圖二百幅
世界地圖
大小百六十餘幅

世界大戰史

雑誌界の横綱が發展振!!

見よ! 空前のー

傑作揃ひ

十月號

見落す勿れ!!! 大評判!!!

艶麗無比四百頁の快雑誌!

廻る夢の蛇	長谷川 時雨
因果の蛇	筑波 四郎
佳人秋風琴	岡本 靈華
薄命秋風琴	岡本 靈華
回出郷の園	岡本 靈華
回出郷の園	岡本 靈華

荆棘家富士ヶ根
 運命の親小救ひ
 殉情戀の選手
 美女の燃る血汐
 醒風佐原親分
 血雨

中村吉右衛門
 知者の手帳
 待合に講釋
 伯山伯龍
 鯛の鹽焼
 戀と死に逐はる女
 櫻州中井弘吉
 滑稽輕口噺
 天ぷら起原

紅一葉委洗滌筆
 中將禪尼日華青
 助兵衛の櫻口洗滌筆
 各地代表名妓
 艶麗美人
 寫眞版
 寫眞版精巧鮮明

中將禪尼
 長篇讀切浪花節
 豪勇無双の余の平内
 現時文壇の泰斗江見水陰先生近
 來の大傑作長篇讀切大歴史小説

國社會相工藤紅洋
 國ボコトン集吉岡鳥平
 國忍愛お菊蟲由來
 國傳奇居眠り正七
 國祇園物語
 國悲願花營原息子
 國浪語菊榮は息子
 國清話衣川妙子

紀潮雀
 池内洋綠
 松元鶴枝
 前田孤泉
 芳川 魁
 何處迄も

國社會明治の俠客
 國虛々源平盛衰記
 國恐怖の十字架
 國天下の愛の十字架
 國浪人塙團右衛門

伊藤 痴漢
 三島 國洲
 國洲 史郎
 坂東 太郎

本社 獨特 大懸賞
 見よ!! 一等賞金貳百圓 受賞者數百名 平易で誰に出来る
 二等賞金壹百圓 募集課題數種 詳細は本誌にあり

なる大正公園に運動員有志者の瞭解を得るの必要は

よりて其の
需給の調節
を圖

見込みこ材ざいを占め得る見込みあり唯照
材ざいと稱するも安東より輸出

五三町の厚山
十月一日より實施

[illegible]

結果、龍の方を宮廷へ召し、
を承諾せり

府で買ふ

購買並に賃賃價格に關し同様の調査したる處に依れば番の賣

三分の増収なり	煙草作は不況	大正專賣局管内に於ける本年の煙草生産は去る廿一日の以て全部減るを告げるが一般減收は主として市中に於ける
海軍に附するべき特殊煙草	内仁川各關公團に陳請するカ	ルウオスターの煙草三三三號の其建物とは多少の増収を計るに取つては
海軍に附するべき特殊煙草	内仁川各關公團に陳請するカ	垂延三取の代物である

西人希
番は松
里に、
田は北

藩し、發賣出來たるもの、他は半年
 以上なりと計るるもの、他は半年
 以下なりと計るるもの、前者は主
 たる原因は慶長時期に於ける
 諸藩の税額なりしと、職制に依り
 て立格率の比較的多少に於ての
 ものなり。

又、**藩に重き目**

江戸府にして、諸藩を府が
 して中央、公國の組織と共に
 此の諸藩の間に、此の諸藩の
 利の爲すべき
 此の諸藩の利の爲すべき
 此の諸藩の利の爲すべき

江戸府を以て府に留受けたる
 諸藩と異なる

[illegible]

釜山山 木村孝蔵の遺體は、
 各道共其地より收葬に影する。
 この點から考へれば、大連
 の義順館中、小野「カリオカ
 ン」艦長は、此種に識し、強
 抵抗力を來艦に討し、海軍の
 此の機會に、原智士
 艦長率の賓客に備へて、空
 ば、若し一箇個人の手中に落
 ち、之を敗ずる事は、不
 である。何れの仁川にして、
 縛るに土地、

五日よいっしんの吉辰きつしんをトして同校々どうがう庭ていに執しつ

皆め本春の園類は頗る好利し
 して一般に歡迎を受け普及上益
 良好なり

赤米除去獎勵

「沙里院」米産改良の目的を以
 て、除穀より高利に於て絶意
 するものあり

能ある云ふので、英蘭聯合
 して買へる云ふ、諸客のあり
 経費多額の折損を要するに
 要らない、それよりも更に適
 ない、高價な土産を賣ふの
 必要を要すべきものが幾
 らあるに

長、加藤道雄議員、長澤學校
合議員、中野商業會議所會頭
商業普通學校長等の祝詞又は祝

鳴緣江上流視察記(一) 古志辨郎

厚昌は木材産地

赤米除去に苦心し來れる船長昨之を買收し府有し

▲關境に住むこゝ數年、多少の聞かされた、

約七車 礦物の好況に向ふに於ては
急湍激に一層の繁榮を見るべきこと

杉林の出づる所、千士の雲林の金手、山頂を攀はれたる影、
不遇に人煙の隔高き岸に向ひて、
横江筋に流るゝ紅松、唐松
を登り、樹幹を攀はれたる影、

シヤンゴに於ける遊樂を讀み、
蓄に初めである。此處は客年
月報す、昨夏された所、將た

自動車から、朝陽馬のシヤンゴ
市街に至る迄に於て既に山中の

醫であ
一人を遣付ければ少くも五圓
口を渡つて三圓する所

角は啼く野獸の喧騒、を其に
す、從つて緊張の氣分に満ち
旅士の興趣、多きを覺ゆ、
而の駐在所では付て不意駭人を
嚇した事、熊三頭を獲た事を
かぬ。

なり。吾輩によりて批評を著し
更に對支圖説及鮮人の思想を論じて
等に就て幾多の考究を積み根本
の實を論ずるの必要があると思ふ
（原稿に於て）
たこは飛ん（て）ぬ（け）た（ら）ん

活動寫真株式會社

出来る障子組
 京坂本町三丁目
 電話二六六
 國枝商會
 一手發賣元

ノコト
一賞一。等五十國一人

ボツクス革特製長靴

東京三金の靴

兵衛 市町 太平 堂

樂天堂製藥

一尺六寸より
木長拾七
同特製裏
二寸二
ポツクス常備上
一箇五圓五十餘



三號七圓五十錢
二號六圓五十錢
四號八圓五十錢
五號九圓五十錢
ボツクス革襪化
一號五圓五十錢
二號六圓五十錢
三號七圓五十錢
四號八圓五十錢
五號九圓五十錢

長江道文三

御注文の端は襷の横類と足袋
の文藝通知あれば代金引換小
包送料郵費にて御送附申上候
目摩寸法用紙要二銭



水ツクス澤ニム
一雙六圓五十銭
二雙七圓五十銭
三雙八圓五十銭
四雙九圓五十銭
五雙十圓五十銭

施仕候間何卒多少二不拘

東京市芝區愛宕下町
御希望の方は特別割引
便宜御相談に應じ可申候
三金高等靴店
電話芝(六九〇六)
振替東京一七二一三

新詩歌本 (男三冊、女三冊)
 新詩歌本 (男三冊、女三冊)
 新詩歌本 (男三冊、女三冊)

温江界賢特許
入の上ハかキ
て申越あれば
圖入説明書

ソウル万筆

17

贈答用として



ノコト
二賞 一等五十圓 一人 二等二十圓 一人 三等五圓 五人 選外佳作
ニハ人 參カ ル シ ャ ム 鮎 一個 宛 進 呈
一審査 専門技術者各新聞社廣告係及本社廣告係他數名
一發表 京城日報朝鮮新聞兩紙十一月三日附紙上ニテ發表シ
原稿ハ返書セザレド 京城本町二丁目貴生堂藥店ニ展列ス

樂天堂製藥株式會社

擬津 灘 石崎株式會社釀造

○破損煉灰、煉炭粉等ハ特ニ御相談可申上候
大正十年九月

一手販賣 平壤櫻町 一朝鮮商工株式會社

電話長五〇一番、四四一番

ベルベツト石鹸

▲▲▲▲▲▲▲▲

理解ある主婦は、
實用的なベルベツト石鹸をのみ
贈答用として
採用せらる。

VELVET
SKIN SOAP

ベルベツト石鹸

新法研究所

京坂預金司一京坂支部

新法研究所
株式會社

御遠方へ日本リーバフラーサービス株式會社へ贈呈

づ短しかつた字慕も頗る工夫して有
つたが字毎が一本調子に落ちたり。
の觀は免れないが佳作だと思ふ國語
は斯うしてアイムにも少しの

日滿聯絡大飛行

目標飛行を廢して 羅針飛行法を採る

目標が少しも見えない
雨天曇天でも目的地に着ける

出発地所澤は雨と風の
爲め出立至難であらう

京城飛行所員語る

天気観測の
結果は飛行に不利

氣流は非常に險惡だ

所澤出發の入電なし

所澤長春間全飛行距離

再び第一回訪問飛行

所澤長春間全飛行距離

再び第一回訪問飛行

所澤長春間全飛行距離

再び第一回訪問飛行

所澤長春間全飛行距離

再び第一回訪問飛行

所澤長春間全飛行距離

再び第一回訪問飛行

所澤長春間全飛行距離

再び第一回訪問飛行

所澤長春間全飛行距離

再び第一回訪問飛行

暫く作業中 數十名生埋

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

子連電 昨廿三日より千

女優殺し 策政取氣人の君

がンリプツヤチ

るて持に王樂歡

傳宣の用利判親

傳宣の用利判親

傳宣の用利判親

傳宣の用利判親

傳宣の用利判親

傳宣の用利判親

傳宣の用利判親

傳宣の用利判親

傳宣の用利判親

傳宣の用利判親

傳宣の用利判親

傳宣の用利判親

傳宣の用利判親

傳宣の用利判親

傳宣の用利判親

傳宣の用利判親

傳宣の用利判親

傳宣の用利判親

傳宣の用利判親

傳宣の用利判親

傳宣の用利判親

傳宣の用利判親

阿片事件第二回公判は 十一月に延期さる

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

阿片事件第二回公判は

二頭の大熊 に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

二頭の大熊に襲はる

京城市は納税言 動力で運轉

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

京城市は納税言

野外撮影大會 近日印刷品出品

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

野外撮影大會

鮮魚死す 浦の池にて

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

鮮魚死す

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

滿鮮縱横評論

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

嗟哦の假寢

營口通信

使館に實定(果實)は来る廿三日交易施設所は大連にて金邊取引の欲する品を賣下し第三回秋季開港せられなば本港よりの取引人々運送船を能く當日は身支金は何れも非納ぐは運へるべし

る爲め資本増加設備等もあり
なれり十七日早朝低気圧が
通か西方に遷れ漸次弱し
ぬ日は大崩れに達し

午後六時をやりたり昨年にも
これは四月四日に既に四十
五の船に上りしれども
午後六時をやりたり昨年にも
これは四月四日に既に四十
五の船に上りしれども

チヤイター船速丸に二十日
午後二時二十分乗船
午後二時二十分乗船

運絡船乗客

廿四日大入港船名一表

師(百廿四名)三時(二百六十名)
廿五日大衆列馬而宿客等一八
津渡關原、關原宿、關原喜松
使連署七人一名、關原十名

宿門、裝治正業、川掛より子藤岡ら
同、阿松は越之助一人一名二時
九十二名、三時(一百七十四名)

代官、佐々木忠義、佐々木忠義

